

過去の水質事故事例  
(水質事故の原因となったたことがある物質)

物質名	Cas No	概要	出典
過塩素酸	7601-90-3	利根川水系に排水する化学工場 (H23.6 及び H24.9)	2)
ナフタレン	91-20-3	原因不明のナフタレン臭 (H16.7)	3)
ポリアクリル酸 ブチル	9003-49-0	トラックの転落により流出。(工業用のり) (H11.1)	4)
有機スズ化合物 (材木防腐剤)	688-73-3 等	工場から流出 (H10.8)	1)
ウラン	—	原因不明 (H17.12) (H18.6) (H18.8) (H19.7)	1) 8)
アクリル酸 2-エ チルヘキシル	2-990	タンクローリーの横転事故 (H6.12)	6)
フェニルメチル エーテル、イソ吉 草酸メチル等	100-66-3 556-24-1 等	香料会社のタンク漏出 (H6.11~12)	6)
チオ硫酸ナトリ ウム	7772-98-7	舗装工事のスラグから雨水によって流出 (S61.4)	6)
重炭酸アンモニ ウム	1066-33-7	タンクローリーの横転事故 (H6.12)	7)
蛍光塗料、染料	—	水溶性塗料の河川への流出	8)
セメント灰汁	—	モルタルライニングの水道本管末端部に滞留して いた水に古くなったモルタルからアルカリ成分が 溶出 (H16.4) セメント工場からの中和が十分にされていないア ルカリ性の排水が原因とみられる魚の斃死 (H24.10)	4) 2)

<出典>

- 1) 平成 9～18 年度危機管理事例
- 2) 平成 23 年～24 年度
- 3) 「平成 16 年度に発生した水道における主な水質事故事例」、H17.4 水質基準逐次改正検討会資料
- 4) 水質危機の事例、大阪府資料
- 5) 厚生労働省資料 (平成 18 年度 9 月～)
- 6) 突発水質汚染の監視対策に関する研究 (平成 11 年度 報告書 社団法人日本水道協会)
- 7) 突発水質汚染の監視対策に関する研究 (平成 7 年度 報告書 社団法人日本水道協会)
- 8) 環境省：今後の水環境保全に関する検討会 (第 2 回) 資料 4-6

参考資料 4 過去の水質事故事例 (1/2)

番号	水源	発生年月	発生地域	発生箇所	危害内容	原因物質	危害原因事象	被害の規模	対応措置	備考	出典
1	表流水	1986/4			浄水中の残留塩素低下	チオ硫酸ナトリウム	舗装工事のスラグから雨水によって流出				6)
2	表流水	1994/11		河川	異臭	フェニルメチルエーテル、イソギ草酸メチル等	香料会社の廃水処理施設不良による廃水の流入	苦情約1,440件	行政指導、取水停止、粉末活性炭注入、給水停止		6)
3	表流水	1994/12		河川	薬品流出	重碳酸アンモニウム	タンクローリーの横転事故		監視強化、取水停止、粉末活性炭注入、薬品注入強化、浄水処理停止、給水停止	Cas No. 1066-33-7、エツチンゲ剤	7)
4	表流水	1994/12		河川	薬品流出	アクリル酸2-エチルヘキシル	タンクローリーの横転事故		監視強化、取水停止、浄水処理停止、粉末活性炭注入、給水停止		6)
5	表流水	1998/8	奈良県	上水道	流域内工場から防錆剤流出事故	有機スズ	工場からの流出		給水停止	用水受水割合を増やして対応	1)
6	表流水	1999/1	兵庫県	河川	工業用のり流出	ポリアクリル酸ブチル	トラック転落 ポリアクリル酸ブチル10tが川に流出	給水停止、約千戸	取水及び給水停止。給水車出勤。		4)
7	表流水	2003/3	奈良県	簡易水道	水溶性塗料の河川への流出	水溶性塗料(自動車用)	トラックの追突事故により積荷のドラム缶が落下し、水溶性塗料が流出		取水停止		8)
8		2004/4	大阪府		アルカリ成分の溶出	セメント灰汁	モルタル工の水道本管末端部に滞留していた水に古くなったモルタルからアルカリ成分が溶出				4)
9	表流水	2004/7	愛媛県	上水道	ナフタレンによる異臭味被害	ナフタレン	不明		給水停止	浄水系統の切替。配水系統の排水。	3)
10	伏流水	2005/12	広島県	上水道	浄水でウラン濃度目標値超過	ウラン	不明			目標値(0.002mg/L)となるように用水とブレンド。	1)
11	表流水	2006/3	東京都	上水道	都内給水栓にて過塩素酸が高い濃度となる	過塩素酸	上流工場からの排水に過塩素酸が含まれる				2)
12	地下水	2006/6	広島県	専用水道	浄水からウラン検出	ウラン	給水人口26人 (10戸:日最大6.5m3)			逆浸透膜を設置し、基準値以下となるように原水とブレンドして給水予定	1)
13	地下水	2006/8	岡山県	簡易水道	浄水からウラン検出	ウラン	35人			継続して監視 浄水処理方法の検討	1)
14	湧水	2007/7	愛知県	簡易水道	ウラン濃度の上昇 (0.0031mg/L)	ウラン	地質(花崗岩)由来と推定される。			水源系統切り替え	5)

#### 参考資料 4 過去の水質事故事例 (2/2)

番号	水源	発生年月	発生地域	発生箇所	危害内容	原因物質	危害原因事象	被害の規模	対応措置	備考	出典
15	表流水	2012/10	岩手県	上水道	魚の斃死	セメント灰汁	セメント工場からの中和が十分にされていないアルカリ性の排水が原因と見られる		取水停止、他水源への切り替え		2)

出典

- 1) 平成9年度～平成18年度(9月まで)の飲料水に係る健康危機事例
- 2) 平成23年度～平成24年度までの飲料水に係る健康危機事例
- 3) 平成16年度に発生した水道における主な水質事故事例、H17.4水質基準逐次改正検討会資料
- 4) 水質危機の事例、大阪府資料
- 5) 厚生労働省資料(平成18年度9月～)
- 6) 突発水質汚染の監視対策に関する研究(平成11年度 報告書 社団法人日本水道協会)
- 7) 突発水質汚染の監視対策に関する研究(平成7年度 報告書 社団法人日本水道協会)
- 8) 環境省: 今後の水環境保全に関する検討会(第2回)資料4-6 [http://www.env.go.jp/water/confs/fpwq/02/mat04\\_06.pdf](http://www.env.go.jp/water/confs/fpwq/02/mat04_06.pdf)